

ご当地検定とデジタル化と地方創生

水口 毅

あずさ監査法人ディレクター
元日本銀行那覇、広島支店長

ご当地検定の興亡

「ご当地検定」は、2003年ごろに始まり、2000年代後半にバブル的に増加した。開始時期が古い検定として、「東京シティガイド検定」（2003年）、「京都・観光文化検定」（2004年）、以下「京都検定」が挙げられる。

2009年3月公表の一般財団法人「地域活性化センター」の報告書（注1）は、166件のご当地検定を調査している。当時の活況の背景には、平成の大合併で市町村の定義が変わる中、町のアイデンティティ再確認を目指す動きや、観光振興の狙いがあった。

「明石・タコ検定」「沖縄大好き検定」など、印象

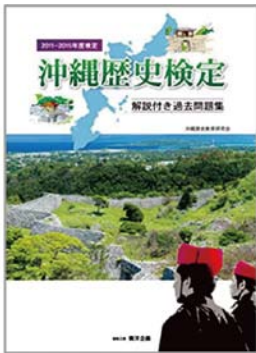


写真1 沖縄歴史検定過去問題集

に残るネーミングの検定も出現した。福井商工会議所主催の「越前カニ検定」は、受検終了直後に結果を発表して「合格&残念パーティー」を開催し、豪勢に越前ガニと福井の地酒を振る舞ったことと、受検料は日本一高い3万円だったことが、話題になった。

しかし、バブルは長続きしない。各地の検定は受検者数の減少に悩み、2010年代半ばには、多くの検定が「10回実施。一定の成果を得た」と総括して終了した。

コロナ禍の被害を受けたご当地検定

そして、昨年になって、コロナ禍が全国各地を襲い、第15回の節目を迎えた長寿の大型検定が終了する例も見られた。

緊急事態宣言や外出自粛要請の中で、会場受検型のご当地検定は、主催者側には「密」を避けるための広い会場の確保などが課題になった。ご当地知識を愛する人々も「コロナに罹るリスクは避けたい」として、受検に消極的になった。

コロナ禍によるマイナスの影響には、次の三つが挙げられる。

①延期…例えば、「長崎歴史文化観光検定」や「沖縄歴史検定」は、当初の予定を延期し、先送りした日程で実施した（写真1）。

②中止…「鎌倉検定」「甲賀流忍者検定」（注2）、「境港妖怪検定」など有名なものを含め、確認できただけで16のご当地検定が昨年「中止」とされた（12頁参照）。

鎌倉の大仏様も甲賀流忍者も鳥取の妖怪も、コロナは苦手である。

③終了…コロナ前から受検者数の減少に悩んでいた検定主催者の幾つかは、コロナ禍をきっかけに検定事業そのものの終了を決断した。

「江戸文化歴史検定」（江戸検）は、受検者数が初回の2006年に1万人を超えたものの、その後激減し、コロナの影響も受けた昨年は遂に1000人を割った。そして、本年3月に終了が公表された。

この他、富山の「越中富山ふるさとチャレンジ」、

広島の「宮島検定」など、メジャーな検定が最近終了を決めた（注3）。

デジタル化でコロナ禍に負けないご当地検定

「禍を転じて福となす」ことは大切だ。しばしばいわれているように、コロナ禍は、働き方や物販などのDX（デジタルトランスフォーメーション）を強く後押しした。「ご当地検定」も例外ではない。以下に「コロナ禍に負けないご当地検定」の具体例を挙げる。

①水戸歴史文化検定…従来、12月の特定の日に会場で実施してきたが、昨年度からウェブ化。すなわち、昨年12月1日から今年1月29日まで約2カ月間の任意の日インターネット経由で自宅受検することを可能とした。受検者数は前年比10倍、合格者数は同6倍と著しく増加した。

この検定は以前から受験料が無料だったため、この受検者増は「無料化の効果」ではない。受検希望者にとつてのアクセスの容易化と、NHK大河ドラ



写真2 水戸歴史文化検定公式サイトより

マ「青天を衝け」の効果だろう（写真2）。

②「新潟清酒造組合は、例年3月にイ

ベント「酒の陣」を開催しているが、昨年、今年と2年連続でこのイベントは中止を余儀なくされている。合わせて開催する「新潟清酒達人検定」も、昨年3月中止となった。しかし、今年の検定については、ウェブでの実施に踏み切った。

なお、同検定には金・銀・銅の3ランクがあり、ウェブ化したのは銀と銅。金には「実技」の利き酒を伴うため、従来同様の会場検定だった。

③「名古屋観光検定」…コロナ禍長期化の中で新規スタートした珍しいご当地検定。ウェブによる自宅受検型である（写真3）。

④「京都検定」…わが国で受検者数が最多の同検定は、会場実施



写真3 名古屋観光検定公式テキスト



写真4 大阪検定WEBチャレンジ冬の陣公式サイトより

の形式は維持する一方、昨年4月から「京都検定YouTubeチャンネル」を開始。「茶道」「伝統芸能」などテーマ別に過去問題を学べる。

⑤「なにわなんでも大阪検定」…昨年6月に2020年度の会場型検定の中止を公表。代わりにWEBチャレンジ「夏の陣」と「冬の陣」を無料で提供した（写真4）。

このウェブ化により、動画・音声による出題が可能になった。大阪弁「なんでやねん」の音声を複数のイントネーションで流し、正解を選ばせる問題などが見られた。

⑥「奈良まほろばソムリエ検定」(以下「奈良検定」)…コロナ禍の影響で昨年度の検定は中止。今年度も開催の可否を検討中。しかし、検定を紹介するホームページに「動画での奈良観光や受験勉強にご活用ください」として、実に102本の短編観光動画を視聴できるリンクを掲載した。実に素晴らしい動画集である。

⑦「東京シテイガイド検定」…これは他の検定とは少し異なる。従来は、特定の会場・期日・時間帯に回答用紙記入で答える方式だったが、昨年度(今年2月)は、多くの会場・日・時間帯の選択肢の中から受検者が先着順で予約し、会場設置のパソコン(PC)からランダムに出題される問題に受検者がパソコン入力で答える方式を採用した。

受検可能日は16日あるなど、受検者自身の自由度が増したほか、「密」を避ける効果がある。不

正防止策も充実。自宅受検はできない。2021年度は検討中とのこと。

本検定は観光業従業者の知識確認等にも使われることから、不正防止を重視している。

なお、自治体職員も環境問題、持続可能な開発目標「SDGs」の知識を問われる時代である。そうした中で、「環境社会検定（eco検定）」が、2021年度からウェブ化した。

ウェブカメラ内蔵パソコンの利用・受検中の自撮り継続・受検中のトイレ利用禁止など、幾つかの条件の下で、自宅受検が認められるようになった。

デジタル化の効用と地方創生

これらのことは、デジタル化の効用を示している。すなわち、デジタル化は検定事業主催者にとってコストが下がる。受検者には「いつでもどこでも廉価で『ご当地ネタ』や『動画付きの愉快なクイズ』を楽しめる」可能性をもたらす。テキストもウェブ化が進んでいる。「京都検定」や「奈良検定」の動画教材提供のように、教材の質の向上も進むだろう。

先ほどの①⑦は、いずれも県庁所在地の検定だったが、「県庁所在地ではない市町村」では、常時提供型の検定も誕生している。山口県萩市の「萩検定」（初級）、埼玉県熊谷市の「熊谷市暑さ対策マスター検定」、北海道名寄市の「なよけん」などである。比較的小規模な自治体が「ご当地検

定」を復活させる好機ではないだろうか。

また、トヨタ自動車の企業城下町の愛知県豊田市には「WE LOVE」とよた力検定」がある。コロナ禍で昨年2月の開催の延期を余儀なくされた後、「オンラインzoom開催」に切り替えて11月末に実施された。

たかがご当地検定、されどご当地検定。コロナ禍が長引く中で、地域経済が新しい活性化の方策を見いだすことを祈りたい（注4）。

注1 地域の魅力を発信するご当地検定

注2 甲賀流忍者検定は、今年度についても6月から11月へと延期が決まっている。

延期後の会場は、東海道五十三次の50番目の宿場だった滋賀県甲賀市水口町に予定されている。水口町は、かつては独立の自治体だったが、2004年に同県土山町・甲賀町・甲南町・信楽町と合併して甲賀市になった。今は地名が残る。

注3 コロナ禍の以前から、ご当地ものは危機的である。「B級グルメ」は、「愛Bリーグ」主催の「B-1グランプリ」が2017年、18年およびコロナ禍の20年は開催されていない。

「ご当地キャラ」も、「ゆるキャラグランプリ」が2020年を最後に終了した。

注4 本稿に掲載したご当地検定公式テキストブックの表紙画像、過去問の例などは、いずれも各検定の主催者等の著作権を持つ方々のご快諾を得て掲載しています。転載はご遠慮ください。

【2020年初め以降、中止されたご当地検定（判明分のみ）】

- ①津軽ひろさき歴史文化観光検定②日光検定③好きです！木更津検定④中央区観光検定（東京都内）⑤鎌倉検定⑥甲賀流忍者検定⑦かめおか・ふるさと検定⑧山科検定⑨宝塚学検定（2020年3月中止、2021年3月は実施済み）⑩奈良検定⑪月ヶ瀬楽検定（奈良市内）⑫境港妖怪検定⑬やまぐち歴史・文化・自然検定⑭小豆島オリーブ検定⑮いまばり博士検定⑯熊本・観光文化検定

【ご当地検定の過去問の例】

京都検定（3級）

「二条城二の丸御殿に残る豪華絢爛な障壁画は（ ）の絵師によって描かれた。（ ）は次のどれか？」

- ①土佐派②琳派③狩野派④四条派（正解は③狩野派）

奈良検定（2級）

「聖徳太子について、誤っているのはどれか？」

- ①十七条憲法を定めた②父は舒明天皇である③推古天皇は叔母である④冠位十二階を定めた（正解は②）

奈良検定最上級（ソムリエ）

「奈良公園のシカの糞の始末をすることで有名な生物はどれか？」

- ①オオセンチコガネ②オオクワガタ③ヤマトタマムシ④ヤマトシリアゲ（正解は、①オオセンチコガネ）

福岡検定（初級）

「博多ラーメンの麺の硬さを表す表現のうち、最も硬いのはどれか？」①ハリガネ②パリカタ③コナオトシ④ガバカタ（正解は③コナオトシ）

【47都道府県のご当地検定の今】

北海道	「北海道観光マスター検定」は、昨年11月に実施(第15回)。
青森県	「津軽ひろさき検定」は、昨年度は中止。
岩手県	「もりけん」(盛岡もの識り検定)は、本年1月に実施。
宮城県	「宮城マスター検定」は昨年11月実施。コロナ→受検者減少もあり、1級受検者96人中の合格者がゼロに。
秋田県	男鹿市「ナマハガ伝導士認定試験」は昨年12月、募集人数を従来の120人から60人に半減させて実施。
山形県	「やまがた検定」は、本年2月、「密」を避けるため、同じ日で時間帯をずらして2回に分けて実施。
福島県	「しらかわ検定」(白河市)を本年1月に実施。
茨城県	「水戸歴史文化検定」を昨年12月初めから約2カ月の間のウェブ検定として提供。受検者数は前年比10倍になるなど成功。
栃木県	「日光検定」は、昨年度中止。「宮のもの知り達人検定」は、常時ウェブで自宅から受検可で、コロナ影響を受けず。
群馬県	「高崎学検定」を、昨年10月に実施。
埼玉県	「熊谷市暑さ対策マスター検定試験」を昨年5月開始。常時ウェブで自宅から受検可。コロナの影響を受けず。
千葉県	「好きです! 木更津検定」は、2019年度が台風被害、20年度がコロナ禍で、2年連続で中止。今年度は検討中。
東京都①	「江戸検」(江戸文化歴史検定)が終了(公表は3月初め)。2006年以来昨年までの全15回で計5万人余が受検。
東京都②	「東京シティガイド検定」は、今年2月実施分は約2週間の期間内で受検者が分散して会場設置PCで受検する方式に。
神奈川県	「鎌倉検定」は、昨年度は中止。
新潟県	例年3月のイベント「酒の陣」は2年連続で中止に。「新潟清酒達人検定」は本年2月ウェブ検定に移行。
富山県	「越中富山ふるさとチャレンジ」が昨年11月の第15回で終了。延べ受検者数は約1万9000人。
石川県	「金沢検定」は、昨年10月に実施(第16回)。
福井県	福井県は、コロナも踏まえ昨年初めまでの「おもてなし認定講習・試験」を「認定観光ガイド養成講座」に模様替え。
山梨県	山梨・静岡両県の複数団体共催の「富士山検定」が2010年に始まったが、2018年に終了した。
長野県	「NAGANO検定」は、昨年11月に実施。
岐阜県	「岐阜市まちなか博士認定試験」は、昨年12月に実施。
静岡県	富士山検定について、山梨県の欄を参照。その他、最近の情報は確認できなかった。
愛知県	今年1月ウェブ検定=「名古屋観光検定」を新設。申込者は約1カ月の期間中1回自宅受検可能。
三重県	今年入り後、「検定お伊勢さん」(2月)、「伊賀学検定」(2月)、「みえ検定」(4月)を実施。
滋賀県	「甲賀流忍者検定」は、昨年度は中止。今年度は人数制限を設けて6月に実施予定。
京都府	「京都検定」は、継続実施中。昨年度は「外出自粛時用のコラム」を連載。今年度は受検者の「密」を避けるため、検定日を年1⇒2に増やした。
大阪府	「なにわなんでも大阪検定」は昨年度の会場検定を中止。代わりに期間内に自宅でも受検できるウェブ検定を提供。
兵庫県	「宝塚学検定」は、昨年3月は中止。今年3月は実施。
奈良県	「奈良検定」は、昨年度は中止。検定のウェブサイトで「観光動画102本」にリンク。
和歌山県	「サイクリング王国わかやま検定」は昨年度は中止。今年度は検討中。
鳥取県	「境港妖怪検定」は、昨年度は中止。
島根県	「松江城検定」は本年3月の第5回を最後に終了(コロナの影響ではない)。
岡山県	「晴れの国おかやま検定」は、本年2月に実施(第7回)。
広島県	「『ひろしま通』認定試験」は、昨年1月の実施を最後に終了。「宮島検定」は、本年3月、コロナ禍で終了を決定。
山口県	「萩検定初級」は、一昨年の夏から常時ウェブで自宅から受検可とし、コロナ影響を受けず。
徳島県	「あわ検定」は、今年2月、ウェブ自宅受検の形で実施。
香川県	「小豆島オーリーブ検定」は、昨年度は中止。今年度は検討中。
愛媛県	「いまばり博士検定」は、昨年度は中止。
高知県	「高知家地域検定」は、観光施設等にある検定用紙を持ち帰り回答・自己採点する方式。会場不要。
福岡県	「福岡検定」は、本年2月、自宅から受検できるウェブ検定として実施。次回の実施形態は検討中。
佐賀県	「唐津検定」は、2月実施用ポスターで、ご当地キャラ(犬=唐ワンくん)がウイルスを制圧する姿を描いた。
長崎県	当初2月上旬実施予定だった「長崎歴史文化観光検定」は、延期され、3月末に実施。
熊本県	「熊本・観光文化検定」は、昨年度は中止。
大分県	「しんけん大分学検定」につき、昨年11月開催分は「会場検定・ウェブ検定併用」で開催。
宮崎県	「みやざき観光・文化検定」の昨年12月の開催回は、コロナ対策として県外在住者の受検を不可にした。
鹿児島県	本年3月の「かごしま検定」で「コロナで昨年の開催が延期された鹿児島県の実施予定年は？」との問いがあった。
沖縄県	「沖縄歴史検定」は、例年夏の開催を昨年度は年明け後の1月に延期して実施。

出典:筆者作成(アンダーラインはデジタル化したもの)